

事業所職員向け 児童発達支援事業所あつぷる（放課後等デイサービス事業）自己評価表 （職員8名中8名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・部屋数は多数あり活動別、利用者さん個々の特性に応じて、部屋の使い分けをしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		・その日の利用者数に応じて必要な職員配置数が変わります。予め利用者数が分かっているので、配置基準を満たす人員確保はできています。 ・学校の下校時間が複数校重なり、送迎時に事業所の職員だけでは対応が難しい場合があります。事務員等に送迎の依頼をすることがあります。 ・職員配置は適切ですが、個別な配慮が必要な利用者さんが複数いる場合はその対応が難しい時があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1	・放デイ入口に段差があるので、手すりを設けさらに専用ボックスを置いて段差を小さくしています。バリアフリーの観点からいえば十分とは言えないので、必要に応じて対応していきたいと考えています。 ・今後、視覚障害やLGBTへの配慮、みんなに優しい環境作りに努めたいと考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		・職員会等で課題について共有しています。具体的な目標設定ができていないことはあります。 ・全職員が職員会に参加することができないこともありますが、意見が反映できるように、予めどんな意見があるか伝えてもらっています。 ・利用者さんのつまづきや、今後より良い生活ができるようにするためにはどうしたら良いか等、職員間で話し合いをしています。
	5	保護者等向け評価表等で保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	8			・職員会の中で、ご家族からのご意見と職員の意見をすり合わせしています。その中で、課題について職員間で議論をしています。また実際は取り組んでいることも周知不十分のためにご家族に伝わっていないこともありますので、再度報告するようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・一条協会のホームページで結果を公開しています。お便りでご家族にもご連絡しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		・感染症の為外部研修の参加はほとんどありません。虐待防止研修や職員のスキルアップのために必要な研修はリモート研修を受けるようにしています。 ・リモート研修の更なる有効活用も検討しています。 ・現在、来年度必要と思われる研修の拾い上げをしています。 ・職員のスキルアップのために事業所内・外での事例発表を検討しています。
	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	8			・日々ご家族から頂いたお話しや定期的に行わせて頂いたニーズ把握調査、また相談支援専門員が作成した計画等を職員間で総合的に協議した上で、計画作成をしています。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	6	2		・毎年利用者さんそれぞれの障害や特性、また生育歴、服薬状況等、様々な項目についてご家族・職員より聞き取りを行っています。また学校や他事業所等からも情報を提供して頂き、支援に繋げています。 ・アセスメント表は事業所独自の内容を使用していますが、より根拠に基づく支援ができるようにアセスメントの見直しを考えています。

適切な支援の提供	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・ケース会議や職員会、また日々の引継ぎ時間の中で、活動について話し合う時間を確保しています。 ・どのような活動をすれば利用者さんが楽しく参加できるか話し合いをしています。
	11	充実したプログラムになるように工夫しているか	8		・利用者さんにとって楽しいと思うことや、飽きがこない内容になるように、職員や利用者さんと話し合いながらプログラムを考えています。 ・充実したプログラムとなるように日頃から利用者さんの様子をよく見たり、どのような活動をしたいか話しを聞いています。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7	1	・日々の活動の中でも個別活動・集団活動を組み合わせています。 ・集団活動が苦手な利用者さんもありますので、可能な限り個々に応じた対応も行っています。 ・好きなことや得意なことを入れた内容を意識しています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	・一日ごとに利用者さんの顔ぶれが違うので、その日にどなたが利用するのか、どんな活動をするのか、また職員の役割についても毎回確認をしています。 ・特別配慮すべき点は引継ぎ事項として記録を共有しています。 ・必要に応じて前日にも役割等について話し合いをしています。
	14	職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・情報共有をするように意識しています。時間が取れない時には引継ぎノートを活用し、他の職員にも分かるようにしています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	7	1	・毎日利用者さん個々の支援記録を取っています。必要に応じて振り返りを行い、利用者さんの状態の変化の検証をしています。 ・個別記録を取ると共に、問題点が見られた時はどのように対応すべきかの話し合いをし、実施に繋げるようにしています。
	16	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・半年ごとに必ず支援の見直しを行っています。また相談支援専門員やご家族からの聞き取りを含め、個別支援計画に反映するようにしています。
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	2	・ガイドラインに則り活動の組み合わせをしています。 ・感染症により十分ではありませんが、高校生に事業所内へ入ってもらったり、お化け屋敷や作品と一緒に作成する等の活動も行いました。また地域にある卸業者・飲食店さんと一緒に児童養護施設の利用者さんをご招待しマグロ解体ショーも行いました。
関係機関や	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にはふさわしい者が参画しているか	6	2	・児発管は必ず参加していますが、担当職員の参加は難しい状況にあります。担当者会が利用者さんの支援をしている時間帯に重なることが多く、最低限の人数しか出席できないことが多いです。
	19	学校や保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3	・最近是比较的スムーズに情報共有ができていますと感じますが、学校行事の詳細や下校時刻等、当事業所に連絡が届いていないこともあります。詳細が変わることもありますので、今以上に学校との共有が必要に感じます。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、保護者や主治医等との連絡体制を整えているか	3	5	・今年度は医療的ケア児の受け入れはありませんが、以前はそのように対応をしていました。 ・主治医と連絡は殆どとることはありませんが、ご家族への確認はできています。
	21	学校や保育園を卒業・卒園する際、それまでの支援内容等の情報を移行先に提供しているか	5	3	・今年度は卒業する利用者さんはいませんが、昨年度までは支援者会議等で情報提供をしていました。

保護者との連携	22	地域にある専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	6	・支援者会等で様々な機関と情報共有・連携をしています。 ・今年度、地域の子育てに関する機関と対面において意見交換、ロールプレイを行いました。 ・行政機関や学校等と連携はできていますが、助言して頂いたり研修して頂いたりというものではありません。
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	2 ・今年度は地域の高校の生徒会と一緒に一部分お化け屋敷を作成しました。高知新聞社にも取り上げて頂きました。また10月には児童養護施設をご招待し、マグロ解体ショーも楽しみました。 ・来年度は、地域のイベントにブースを構える等、関わる機会を増やしていきたいと考えています。
	24	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	3 ・管理者が構成員となっていますが、感染症の影響もあり会議が開催されていません。文書配布のみとなっています。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	・ご家族の方がお迎えに来られた際に、可能な限りその日にあった出来事や最近の様子等お話しするようにしています。 ・利用者さんの対応を並行して行っておりますので、十分な時間が確保できない場合もあります。全員ではありませんが連絡帳を活用した情報共有も行っています。
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について保護者に説明を行っているか	7	1	・支援内容は個別支援計画作成時やモニタリング報告の際、また日々ご家族の方がお迎えに来られた際に、可能な範囲でお話しています。 ・契約（更新）時に、契約書や重要事項説明書の中で運営規定や利用者負担額等について説明をし、承諾を得るようにしています。
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	・相談された時に即答できないこともありますので、他の職員や上司に確認したり調べ、後日伝えるように心掛けています。 ・来所時にご家族の困り事等を聞き、利用者さんへの働きかけ方やその他の業務改善にも努めています。
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	・父母の会が地域にないのが現状です。 ・今年度は感染症拡大により、保護者懇談会開催が延期させることもありました。小・中・高等部の3回に分けて実施するようにしております。文章でもご案内させて頂いておりますが、対象となるご家族には直接声をかけてご案内をさせて頂いております。3月には高校生のご家族を対象に開催する予定です。 ・感染症の影響はありますが参加者が少ない状況です。参加しやすい会にするための工夫が必要だと思います。 ・特別支援学校のPTAにも声をかけてみようと考えています。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・今年度苦情として処理をした事案はありません。苦情が上がった場合は、速やかに謝罪・必要な対応を講じ、保護者懇談会において報告をするようにしています。またその際資料に記載し、参加できないご家庭には郵送するようにしています。苦情ではなくご意見・ご提案として頂いた内容も、職員間で共有しています。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や必要な情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・毎月事業所お便りを発行しています。また連絡帳や掲示板も活用しています。 ・本来各種イベントは事前にお伝えすべき内容なのですが、お伝えすることで利用希望が殺到し、定員枠を超えた方の利用をお断りしなければならない状態です。ご家族の方には事前周知ができないイベントもあることをご理解して頂いています。誕生日会等、参加対象の利用者さんは参加できるように、日程調整等の配慮をしていますので、その点はご安心下さい。
	31	個人情報に十分注意しているか	8		・契約時（更新時）に、ご家族には個人情報取り扱いに関する調書に必要事項の記入をして頂いております。それに基づいて対応しています。

	32	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしていることはあるか	8		・お迎えの際その日の様子をお話させて頂いたり、連絡帳等でご家族に伝達するようにしています。 ・お手紙や掲示板で写真を使った行事報告も行っています。 ・今後、ホームページ、またSNS等で情報発信をしていきたいと考えています。
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	・地域の高校生と合同で行ったお化け屋敷は、新聞社を通して広く一般参加を呼びかけました。11月には当法人（拠点事業所）で今年度行った「施設を地域に開いていく」ことについて外部に向けて実践報告をし、事業所の利用者さんもスタッフとして、法人で作ったお茶をお客様に振舞っていただきました。また現在、高校生と職員が一緒になり、配慮が必要な利用者さんにとって機能的かつデザイン性も良い衣類の作成も行っているところです。 ・来年度は福祉避難所の開設訓練に地域の方に参加していただくことになっています。
非常時等の対応	34	緊急時対応や感染症の対応等のマニュアルを策定し保護者に周知しているか	5	3	・契約（更新）時に説明をしたり、文章を掲示・配布しています。各マニュアルは見直したり、追加しています。 ・感染症については随時文章を発行しております。 ・災害時対応について、現在見直しをしているところです。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		・毎月1回は併設の入所施設と合同で避難訓練（地震・火災・風水害）をしています。また7月・1月・3月には事業所独自で避難訓練を行うようにしています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	・虐待防止委員会を設置しています。その中でセルフチェックシートを活用して、不適切な支援が行われていないか点検しています。 ・困難事例についてケース会で話し合いを持っています。 ・常勤職員は高知県障害福祉課職員による虐待防止研修に参加しています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	8		・現在一名の利用者さんが該当します。ご家族には事情を説明し、承諾を得ています。また個別支援計画にも記載しています。 ・対象者は比較的安定していますので、身体拘束の事例はありません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの説明や医師の指示書に基づく対応がされているか	8		・現在一名の利用者さんが該当します。担当医が記載した「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を提出して頂いており、それに基づいて対応しています。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	・事案があれば作成します。 ・どのような場合に（事故・ヒヤリハット）とするのか、再度統一した見直しも必要だと思います。

取りまとめ:令和 5年 2月 16日